

## 防災対策事業

各種訓練の実施、自主防災組織の設立及び育成に向けた支援や、地域防災計画の整備すべき事項の推進を継続して行なった。

### 1. 自主防災組織育成事業

住民一人ひとりが「自分達の地域は自分達で守る」という考え方で、地域住民が協力し合って防災活動を行ってもらうために、自主防災組織の設立及び育成に努めた。

平成27年度末時点の組織数 54団体 組織率 63.7%

(1) まちづくり出前講座やその他防災訓練を通じて、地域防災力の向上に努めた。

計55回実施 参加人数 約5,400名

(2) 自主防災組織の育成事業及び活動推進事業にかかる助成金交付事業の実施及び啓発に努めた。

① 育成事業助成

13団体 1,273,738円

② 活動推進事業

16団体 789,095円

### 2. 地域防災計画推進事業

(1) 河内長野市地域防災計画\*

市の防災活動の総合的かつ計画的な推進を図るとともに、災害から市民の生命・財産・生活を守り、防災行政の推進を図ることを目的としており、地域防災計画における整備すべき事項の推進に取り組んだ。

※河内長野市地域防災計画

河内長野市地域防災計画(平成26年4月修正)は、市域に係る災害予防対策、災害応急対策、災害復旧・復興対策等に関し、市及び関係機関(市域に関係する公共的団体をいう)が処理すべき事務又は業務の大綱等を定めることにより、防災活動の総合的かつ計画的な推進を図り、もって災害から市民の生命・財産・生活を守るとともに、防災行政の強力な推進を図ることを目的として作成されたものである。

(2) 避難行動要支援者支援制度

災害時における避難行動要支援者への支援に役立てるため、避難行動要支援者名簿を作成し、地域の支援者である、自治会・自主防災組織、民生委員・児童委員、地区福祉委員等へ名簿情報を提供し、避難支援や安否確認等に役立てるとともに、平常時の地域の見守りや日常的な支え合い活動などの、地域の支援体制等の構築を図った。

(平成27年12月時点)

対象者 13,883件 同意者 8,987件

### 3. 防災の啓発・訓練事業

(1) 防災訓練

ア. 大阪880万人訓練

日 時:平成27年9月4日(金) 11:00

場 所:市役所

内 容:午前11時03分及び15分にエリアメール/緊急速報メールを発信し、訓練想定である午前11時の地震発生にあわせて、身を守る行動や避難訓練等を行った。

#### イ. 河内長野市地域防災総合訓練

日 時：平成27年11月1日（日）

場 所：市立赤峰市民広場

参加団体：自治会・自主防災組織（42団体）、防災関係機関

参加者数：約1,000名

内 容：我が身の防護、炊き出し訓練、見回り総合訓練、天幕展張訓練、初期消火訓練（水・粉）、避難訓練、初期消火訓練（天ぷら）、応急処置訓練、救出・救助訓練、AEDの使用法訓練、救出・応急処置・トリアージ訓練、救援物資搬送訓練、搬送リレー、初期消火リレー、バケツリレー・可搬ポンプ操法

#### ウ. 災害対策本部運営訓練

日 時：平成28年1月14日（木）

場 所：市役所

参加者：市職員（特別職、部長級、実務担当職員等）、防災関係機関

内 容：災害時にスムーズな本部運営を行うため、災害時を想定したブラインドによる図上訓練を実施した。

#### (2) 災害対応

台風等の接近や大雨の発生に伴い、災害警戒本部等を設置して災害対応を行った。

平成27年台風6号 事前配備体制

平成27年台風11号 災害警戒本部設置 避難準備情報発令 避難所6カ所開設

#### (3) 防災対策設備

住民等に周知することにより、円滑かつ安全な避難を促進する手段として、指定避難所の標識を設置した。

避難所案内看板3基新設

- ・汐の宮保育園（保育所西側）
- ・キックス（キックス正面玄関前歩道）
- ・障がい者福祉センターあかみね（赤峰グランド北側出入口）

#### (4) 防災の啓発

地域版ハザードマップの作成（流谷地区、石見川地区）

土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域に指定された地域において、地域の住民とのワーキングにおいて、過去の災害の被害状況より、危険な箇所及び一時避難場所等を記載した地域版ハザードマップを作成し、地域の安全安心に備えた。